

<b>学校教育目標</b>	『力を合わせて、ともに歩もう』 自分のよさに気づき、愛するまちや人とともに、自分の生き方を切り拓いていく児童生徒を育てます。					
	○強く優しい心と、健やかでたくましい体を育てます。(徳・体) ○ルールを尊重し、共に支え合いながら公平・公正に接する態度を育てます。(知・公) ○自ら積極的に社会に貢献し、国際社会の平和と発展に努める態度を育てます。(開)					
<b>学校概要</b>	創立 72 周年	学校長	間邊浩二	副校長	繁里賢	3 学期制
	一般学級: 14	個別支援学級: 3	児童生徒数: 516 人			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○自分づくりに関する力 伝え合い自分の考えを深化する力 ○課題発見・解決能力 協同的に解決策を見いだす能力 結果を予測し現実と比較する力	鶴見中学校 鶴見小学校 豊岡小学校	○笑顔とあいさつがあふれ自分や周りを大切にできる子ども ○地域の中でたくましく、より良く生き、学ぼうとする子ども ・鶴見中ブロックで児童生徒理解や授業研究会を行い、児童生徒理解・教科・領域における情報交換を積極的に行う。 ・中一ギャップが生じないよう、児童の参観授業や部活動体験、中学生から児童へのオリエンテーションなどを行う。

<b>中期取組目標</b>	○生徒一人ひとりが大切にされ、深い信頼関係に基づいた指導で誰もが安心して豊かに生活できる学校を目指します(人権教育の推進) ○教職員が互いに研鑽し、資質の向上に努めることによって活気あふれる学校を目指します(魅力ある学校づくり) ○保護者・地域からの信頼をさらに深め、協働して質の高い教育を目指します(地域とともに歩む学校) ○「分かる授業・楽しい授業」をめざし、日々の実践から研究を進め、教師力の向上を図ります(授業改善の推進)
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 学習指導部	①校内授業研究会を音楽と国語で実施し、「分かる授業」「習得型アクティブラーニング」について研究する。②中間期に生徒による授業評価を実施し、各教科で現状把握や分析を行い授業改善につなげる。③1学年英語科・数学科で少人数授業を取り入れ、きめ細かい学習支援に取り組む。
<b>豊かな心</b> 担当 道徳係	①思いやりの心や感謝の気持ちをもてるように、自分と他者を理解した言動がとれる目標を設定し、各教科横断的に取り組む。②総合的な学習の時間や校外学習、講演などで人、自然、歴史とのふれあいを通して、道徳的な実践力を促したり、培ったりするための体験を充実させる。
<b>健やかな体</b> 担当 保健安全指導部	①新体力テストの結果をもとに、体力や技能の重点課題を明確にし、資質能力の向上を目指し、授業の中で体力向上を図る。②休み時間の外活動や学校行事において基礎体力の必要性を呼びかけ、部活動での活動においては安全に配慮し基礎体力を養う。
<b>教育課程の推進</b> 担当 教育課程委員会	①鶴見中ブロックにおいて小中一貫の9年間を見据え、児童生徒理解・教科・領域における評価の一体化を目指す。 ②カリキュラムマネジメントから重点目標に特化し、特色ある教育課程の推進を目指す。
<b>児童生徒理解</b> 担当 生活指導部	①年2回の生徒指導理解研修や、小中ブロック研修会を実施し、指導方法の共通理解を図る。 ②教育相談日を年3回設けるとともに、年3回の保護者を含めた個人面談を行う。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育委員会	①一般学級、個別支援学級、通級教室、国際教室の生徒の状況を把握し、日常的な支援に努める。②生徒一人一人の課題に応じた教育支援をまとめ、個別支援計画、個別指導計画を作成する。③日本語指導が必要な生徒に対しても同様に教職員の指導体制を確立する。
<b>保護者・地域連携</b> 担当 広報・渉外部 地域行事部	①田祭り、夏祭り、ちびっこ王国などの地域行事に生徒と共に教職員も積極的に参加し、地域との関わりを深めていく。②職員体制に行事部を設け、その職員を中心に地域行事に参加する。③学校・地域コーディネーターを配置し、学校と地域の連携が円滑に行えるようにする。
<b>人権教育推進</b> 担当 人権教育委員会	①生徒一人ひとりに寄り添い、生徒の普段の生活を見つめ、情報の共有化を深める取り組みを行う。 ②教科・総合的な学習の時間・道徳など様々な自主活動の中で、言動をふり返り、お互いの価値を認め合うことがいかに大切かを学習していく。
<b>いじめへの対応</b> 担当 生活指導部	①いじめ防止対策委員会の取り組みを明確化し、的確な支援体制を確立させる。 ②「いじめ」根絶横浜メソッド等を活用し、日頃から集団を意識した人間関係作りを充実させる。 ③毎月のいじめ認知報告や教育相談等を活用して、生徒の状況把握に努める。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 教育課程委員会	①職員の良さと課題を見極め、キャリアステージの達成に向けた日々の研修を重ねる。 ②鶴見中スタンダードを共通理解とし、普段の実践を通し、個の人材育成と円滑な組織運営を図る。 ③管理職・各部長・各学年主任との報告・連絡・相談を重ねた組織的な運営と、先を見据えた教育課程の運営を実施し、よりゆとりのある学校運営を目指す。